



9月

海 磐城沖石油開発(株)／磐城沖プラットフォーム撤去工事 ～大水深重量ジャケット撤去工事～



建 東京スカイツリー鉄骨工事



10月

鉄 (株)住友金属小倉／新製鋼工場
海 羽田空港D滑走路供用開始



海 Chevron Thailand／Chevron 2010 Installation Project



11月

海 日本鋼構造協会協会賞を共同企業体として受賞「羽田空港D滑走路／世界初となる鋼製ジャケットによる栈橋式空港の整備」

オーストラリア／パースに営業・実行支援拠点として「Nippon Steel Engineering (Australia) Pty Ltd」を設立

12月

鉄 新日本製鐵(株)／君津製鉄所 熱風炉補修
工 石油資源開発(株)／勇払LNGプラント BOG再液化設備

1月

鉄 住友金属工業(株)／鹿島 CDQ
建 SECカーボン(株)／京都工場増設工事
八 西部ガス(株)／若松ラインA工区建設工事

9月
September

10月
October

11月
November

12月
December

8/28

地引き綱大会(北九州技術センター)
健康イベントの一環として、社員と家族が多数参加。会場となった、玄界灘を望む福岡県糸島市志摩新町の海岸に、歓声が響きました。

全国労働衛生週間
(準備期間9/1～30、本週間10/1～7)
会社の発展は、社員の心身の健康なくして望めません。健康フェア、メンタルヘルス研修会、健康・衛生講演会などを開催。血流測定には300人もの行列!

建設業法コンプライアンス室発足
同室を安全衛生・環境統括部に新設。多岐にわたる事業を展開する新日鉄エンジニア全体に建設業法の遵守を徹底するため、各工事部門からの推進員による委員会を立ち上げ、現況調査を実施。また、建設業法遵守状況総点検もおこなわれました。

建設業法・下請け法遵守マニュアル説明会スタート
過去の法令遵守の不徹底をふまえ、真に社会に認められる企業となるべく取り組んだ施策の一つ。グループ各社の従業員も対象として各地で全21回開催、受講率は99.5%にのぼりました。

省エネ責任者会議設置
事業場毎の昼休み一斉消灯ルールなど、省エネプランを作成。環境省が提唱する温室ガス削減運動にも間接的に貢献していきます。

10/4・8・13
女性活躍推進セミナー(上司向け)
「女性の活躍を支援する現場の上司力がテーマ。『職場の中で女性の存在感が増していることは事実。研修で学んだことを発揮したい』(受講者談)

11/1～30
建設業取引適正化推進月間
●建設業法講演会
大森法律事務所／大森文彦弁護士
●協会社への建設業法説明会(計5回、364社・419名参加)

コンプライアンス意識調査、内部統制に関するe-learning

11/17 品質事例発表会・講演会
玉川大学 教授／大藤正氏(品質月間委員会委員長)

11/20
四万十川の森林保全(NSES)
高知県主催「協働の森づくり事業」に2年連続で参加。



12/1～1/15
年末年始労働災害防止強調期間

12/1 ワークライフバランス講演会
(株)東レ経営研究所 特別顧問／佐々木常夫氏

12/6 橋アート現場見学会(NTB)
社会貢献活動に関するアンケート
3Wの4つの企画案について、社員の意見や要望を募集。

夏休みのいい思い出になったようです。



子供たちの歓声が響く1日となりました。



7～10月 部門別CSRワークショップ

自分たちに重要だと考えて設定したテーマについて、有識者の講演会や他社ヒアリングをおこない、部門内で議論を深めました。
●技術本部：NSEC品質の作りこみ ●技術開発研究所、事業開発センター：世間の流れを読み市場ニーズをとらえる感受性 ●調達本部：CSR調達基本方針の策定と公開 ●マネジメントサポートセンター(MSC)：MSCの機能発揮、事業貢献度点検について ●製鉄プラント事業部：①CO2視点の導入検討②取引先とのコミュニケーション ●環境ソリューション事業部：環境ソリューション事業における顧客満足と地域社会貢献 ●エネルギー事業部：地球温暖化対策に対し当事業部が貢献できること ●海洋事業部：海外事業展開先で良き企業市民となる ●建築・鋼構造事業部：事業特性にあったCSRとは?

9/8 2010クリーン・コール・デー
8か国のべ800人が参加した石炭利用国際会議。その締めとなるパネルディスカッションに、羽矢社長(当時)が出席。クリーンな石炭利用の現状と今後の展望を語りました。



10/19 社会貢献活動の最終4案を提案
3W③ 7月の合宿以来、検討を重ねてきた「新日鉄エンジニアらしい社会貢献活動」を4つ、経営層に提案しました。①クリック募金②個人ボランティア紹介/支援③こども現場見学会④エンジ村。実行に向けて、検討はまだまだ続きます。



11/27 東京グリーンシップアクション
6万m² 企業・NPOと行政が連携の上で、東京に残された山地の森林や丘陵部の里山、市街地の雑木林などを保全していく活動です。新日鉄エンジニアグループからは家族を含む29名が参加。NPO法人「花咲き村」のご指導のもと、日野市に広がる約6万m²の「東豊田緑地保全地域」で作業をおこないました。草刈りや間伐が進むにつれ、日当たりや風通しが見るようになるさまに、疲れも吹き飛びます。秋晴れの下、葉っぱを使ったアートや竹鉄砲づくりなどのプログラムで、子供たちも大喜びでした。



12/8・16
高校生職場見学受け入れ
17歳 長崎県立長崎南高校の2年生6名と、大分県立高田高校の2年生

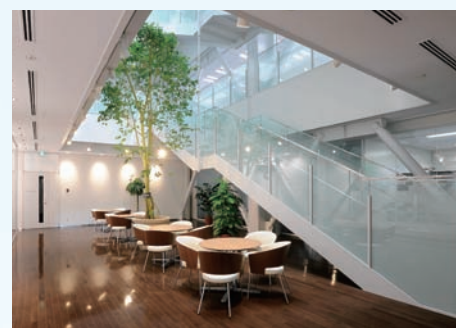
9月～ TABLE FOR TWO (大崎・戸畑)



20円 直訳すると「二人の食卓」。餓えにあぐさ途上国の10億人の子供たちと、肥満など食に起因する生活習慣病に苦しむ先進国の10億人が、時間と空間を超えて食事を分かちあうというコンセプトで生まれたプログラムです。社員食堂での食事の際、栄養バランスのとれたヘルシーメニューを選ぶと、一食につき20円が開発途上国に寄付される仕組み。これはちょうど、開発途上国の給食一食分の金額にあたります。支援対象は、ルワンダ、ウガンダ、マラウィ、エチオピアの4か国。初日の結果は、本社では130食、戸畑では40食が数分で完売。これからも毎週火曜日は社食へGo!



12/6 北九州技術センター新ビルでの執務開始
地下80m 建築・鋼構造事業部の設計施工により、ZEB(ゼロ・エネルギー・ビル)を目指したビルが誕生しました。季節風を活かした自然通風による外気冷房と、高効率ヒートポンプによる「自然換気ハイブリッドシステム」。地中約80mまで埋め込んだ熱交換器を用いた「地中熱ヒートポンプシステム」。追従装置付きの「太陽光発電システム」や消費電力の可視化と分析を担う「ビルチューニングシステム」など。数々の最新鋭設備により、呼吸し、熱を吸い、日を浴びる——環境共生型の省エネビルです。



2月 オフィスビル省エネ診断
マイナス7% 改正省エネ法に対応し、『エネルギー管理基本規程』に沿った組織的な省エネ活動を12月より開始。本社では昼休み一斉消灯などに着手しました。また、中長期的な計画を推進するために、専門機関で